

令和7年度 事業所における自己評価総括表（ドットジュニア 船橋法典第1教室（放課後等デイサービス・児童発達支援））

子ども家庭庁が定める「放課後等デイサービスガイドライン」「児童発達支援ガイドライン」に基づいて、さらに強化・充実を図るべき点（事業所の強み）や、課題や改善すべき点を整理・分析しています。この自己評価総括表をもとに、業務・サービスの資質向上や改善をしていくことを目的としています。

<保護者アンケート調査時期：R7/11/17~R7/12/5> <職員アンケート調査及び検討時期：R7/11/17~R7/11/25>

強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
<ul style="list-style-type: none"> ・集団療育は、年齢層が幅広いが、すべての年齢層に満足してもらえるプログラムを考案することができている ・近隣の公園をうまく活用することによって、地域とのつながりや地域からの理解を促す場を提供できている ・支援室内に不要なものを出していないことで、児童の怪我の発生が極めて少ない ・支援室に張り紙など目に入りやすく集中を削ぐものがないため、児童が活動に集中して参加できる環境作りができている 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムは、子供の視点に立って楽しいを追求できるものを考案しています。（曜日のレベル帯に合わせたプログラムの配置をしています。） ・教室でスペースが狭いと感じた際には、近隣の公園を使うことで子供にかかるストレスをなくす工夫をしています。 ・物が多いことによる危険を回避する工夫を行いました。 ・貼る際には、子供の目線に入らない上の方に貼っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節のイベントの際などには、制作物を部分的に貼ることで、保護者様の来所時などの満足度を向上させる工夫をしてもよいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に、保護者様のニーズに合わせて送迎を行うことができている（送迎時刻や送迎場所） ・連絡袋によるお便りの配布が適切に行われており、HUGの電子媒体では回収が難しいが、紙媒体にすることで、アンケートなどを円滑に回収することができている ・通信を通して、災害対策などを周知することができている ・学習プリントの量が豊富 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者様全体への連絡の際には、ドットジュニア通信の活用しております。 ・紙媒体と電子媒体を駆使し、回収速度を速めております。 ・ふなっこやルームを利用しているが、ご本人が使いたくないと言っている場合には、下校時刻に合わせた送迎を行うなどそれぞれに合わせた送迎を行っております。 ・同じ内容のものでも、異なる角度のプリントを用意しているので、様々なアプローチで支援を行っております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の備蓄品などの説明もお便りで行う予定です。（3月の防災週間で実施予定です。） ・学習プリントの年齢に合わせたプリントを増やす予定です。

強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
<ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童の面談などで、保護者様や相談支援員との連携にとどまらず、学校との連携も行うことができている ・児童特性に合わせて、午前の個別療育もうまく活用し、それぞれのステップに合わせて、スモールステップで最終目標へ到達する過程を丁寧につくることができている ・学習スペースと運動スペースに空間がしっかりと分かれているため、自由時間に事故が起きにくい ・一日のスケジュールや時間管理を可視化することで、児童が先を見据えながら行動でき、パニックが起きにくい環境づくりをできている。また、タイマーを用いたり、日々の時間配分の大枠を固定することで切り替えしやすく、切り替えが身に付きやすい環境を提供できている 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習スペースでは座って行う遊びをする仕組化をしております。（トランプ、ブロック等） ・運動スペースではボールや風船などを使う仕組化をしております。 ・モニタリングの受け入れなど、こまめに外部と連携を取るようしております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スペースを分けるという面では、クールダウンなどのスペースの構築を行う予定です。

弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	拠点として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取り組みや工夫が必要な点等
<ul style="list-style-type: none"> ・お子様にとって分かりやすく安心して過ごせる環境（構造化された環境・物理的・心理的な安全）が整っていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・構造的に学習ルームと運動ルームに段差があり、2か所の出入り口のうち1か所を長机で塞いでいるのですが、多動の児童が机の下から出入りしようとするため少々危険を感じています。 ・パニック時に落ち着ける空間を常に作れるとよいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出入口を完全に塞ぐ物品の購入の検討をいたします。 ・パーテーションでの対応をいたします。
<ul style="list-style-type: none"> 怪我や急病時の対応手順を把握し、実践できそうにない 	<ul style="list-style-type: none"> ・頭では理解していても、実践となった際に、咄嗟に行動できる自信がないです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践研修の事業部ごとの開催を検討いたします。
<ul style="list-style-type: none"> ・非常時にお子様の安心と安全を守る体制は整っていると感じない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家庭の状況を初回アセスメントを通して把握しきれていないため、緊急連絡先が十分に揃っていないご家庭もあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新アセスメントを用いて、口頭で家庭の事情に踏み込むことで、緊急連絡先など保護者様の記載不足の箇所を聞き取ることを行います。 ・一方で、新アセスメントは時間がかかるため、初回アセスメント時に時間がかからないように質問の的を絞る工夫をいたします。